

令和3年度委員会報告

〔 1 〕 教育委員会

委員長 増満 誠

1. 委員会開催状況

1) 委員会 9回(WEB開催5回)(中止3回/予定より早い進捗と議題延期のための不要含む)

2) 検討事項

- | | |
|------------------|-------------------|
| (1) 研修計画の修正 | (2) 研修応募状況 |
| (3) 研修実施の評価 | (4) 令和4年度研修計画の検討 |
| (5) 令和4年度事業計画の検討 | (6) 教育委員会規定・内規の検討 |

2. 活動報告

1) 研修会等開催

令和元年度に再構築された「教育理念」「教育目的」「教育目標」「教育研修分類」に沿って、オンデマンド8研修と集合39研修を企画した。新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて柔軟に研修方式(集合・オンライン・ハイブリッド)や運営方法を変更し、できる限り中止することなく下記の通り開催した。

区分	回数	日数	定員数	応募者数	受講者数
集合・オンライン	38	43.5	6,512	5,592	4,003
オンデマンド	8	—	—	3,518	3,403

※中止1研修(申込数が開催規定数に満たなかったため)

3. 今後の課題・検討事項等

- 1) 令和3年度と同様に、感染拡大時にも対応しうる研修を準備する必要がある。基礎的内容はオンデマンド研修、発展的内容は対面研修など新しい研修スタイル(オンデマンド、収容人数等)に合わせた構成を検討する。
- 2) 研修評価のために、申込や受講状況、アンケート結果及び委員や関係者による受講評価、これらの指標を組み入れた評価シートを用いる。併せて日看協の研修分類や教育目標の網羅性を踏まえた研修内容を検討する。
- 3) 委員会(教育、新人、感染、医療安全)を超えた重複内容による研修のスリム化、区(差)別化を一層図るとともに、ラダーの対象の幅についても検討を行う。
- 4) 県内のリソースナース(高度実践看護師など)を活用し、近隣施設とのつながりの強化や顔の見える関係の構築の機会となる研修を企画する。
- 5) 福岡県看護協会が企画するというスケールメリットを活かし、著名な全国の講師を招聘することで、最新の情報に触れる機会を設ける。
- 6) 委員会運営の円滑化のために評価シートを共有するクラウドシステムの活用を検討する。